

SEIKATSUKA

受賞作品 | 生活科部門

〈総評〉

本年度の自由研究発表では、提出作品数は一昨年の143点、昨年度の94点から本年度は75点と減少傾向を示しました。しかしながら、各作品の完成度は高く、児童・生徒一人ひとりがテーマに真摯に向き合い、粘り強く探究した跡が見て取れました。とりわけ、生き物の観察や身近な自然に関する研究が多く、自然や環境に対する関心の深まりが感じられます。現地調査やインタビューなど、実際に行動を伴う研究も少なくなく、家族の支援を受けながら自らの問いを掘り下げようとする姿勢は大変立派でした。

一方で、インターネットによる情報収集に終始し、研究が表面的なまとめにとどまった例も見受けられました。探究の核心は「自ら確かめ、考えること」にあります。自分の足で現場を訪ね、時間をかけて体験を積み重ねることで、知識は確かな理解へと変わっていきます。次年度は、こうした実体験をより重視し、独自の視点や発想を深めた研究が多く見られることを期待しています。



文部科学大臣賞

うめで元気

栃木県 宇都宮市立豊郷中央小学校 2年
香山 真人



子どもの文化・教育研究所 理事長賞

せんご80年「みぢか」に見つけた せんそう

東京都 白百合学園小学校 2年
野口 一佳



全国小学校生活科・総合的な学習 教育研究協議会 会長賞

私の歯はチーム！6本ぬけてびっくり！ 「どうして前歯から？」

東京都 世田谷区立桜町小学校 1年
高橋 舞奈



中央出版株式会社 社長賞

～大人をぶらさげた～れいぞうこの中の さいきょうせつちやくざい

千葉県 流山市立南流山小学校 2年
南斉 穂乃果



優秀賞

仮面ライダー旧1号はかせに なっちゃおう！！！！

神奈川県 藤沢市立羽鳥小学校 1年
阪本 隼人

紙ひこうきのけんきゅう

東京都 聖徳学園小学校 2年
安達 祥宏

お兄ちゃんのかんさつ日記

愛知県 愛知県立教育大学付属岡崎小学校 2年
中井 結菜

文部科学大臣賞

うめで元気

香山 真人 | 栃木県 宇都宮市立豊郷中央小学校 2年



〈選考理由〉

うめジュース作り教室で「うめは体にいい」と聞き、「本当にそうなのかな？」と考えた真人さん。気になったことを100人もの大人にたずねに行く行動力が素晴らしいです。

アンケートの途中でうめの効果を教えてもらい、実際にうめを家で作ってみたことで学びがどんどん広がりました。さらに、うめがどこから来るのかを調べるために和歌山県まで足を運び、JAの職員さんや市場の人にも取材をして、青梅の収穫から流通までの流れを自分の目で確かめた点は見事です。たくさんの人との出会いを通して、うめを育て、届ける人の思いにも気づくことができました。「おばあちゃんたちに元気になってほしい」という気持ちが作品全体に伝わってきます。

今回のみなべ町での経験をきっかけに、備長炭やウミガメ、はちみつにも関心をもったとのこと。次の研究では、そこで見つけた新しい興味をさらに深めていくと、より広い世界が見えてくるでしょう。

せんご80年「みづか」に見つけた せんそう

野口 一佳 | 東京都 白百合学園小学校 2年



〈選考理由〉

町を歩いているときに見つけた戦争の跡をきっかけに、「戦時中、自分のまちや学校ではどんな生活をして
いたのだろう」と考えた一佳さん。

家の近くに残る跡を地図にまとめたり、昭和館で当時のくらしや食べ物、衣服を調べたりと、実際に足を
運びながら調べを進めているのがすばらしいです。自分の学校の戦時中の制服や、学童疎開、当時の児童
の日記と一佳さん自身の日記をくらべた発想も見事でした。国語で学んだ「かわいそうなぞう」から上野
動物園に行き、戦争の影響を自分の目で確かめようとした行動力にも感心します。調べたことが絵や写真
でわかりやすくまとめられており、当時の様子がよく伝わる作品でした。

次の研究では、今回作った地図や説明をより見やすく配置したり、感じたことや新しく調べてみたいこと
を最後にまとめたりすると、一佳さんの考えがさらに伝わる作品になるでしょう。

全国小学校生活科・総合的な学習教育
研究協議会 会長賞

私の歯はチーム！6本ぬけてびっくり！ 「どうして前歯から？」

高橋 舞奈 | 東京都 世田谷区立桜町小学校 1年



〈選考理由〉

前歯が抜けたことをきっかけに、「歯ってどんな役わりがあるのだろう？」と考えた舞奈さん。おもちゃの歯と自分の歯でいろいろな食べものをかみくらべたり、国立科学博物館に行って動物の歯を調べたりと、実験と調査をくり返しながら確かめているのがとてもすばらしいです。肉食・草食・雑食のちがいを自分の目で見て比べ、さらに歯の形にした道具を使って食べものを切ってみた発想には、舞奈さんの探究心と想像力を感しました。16人にアンケートをとって「前歯からぬける人が多い」とまとめている点も説得力があり、調べたことと自分の考えがしっかりつながっています。最後には、最初の疑問への答えを自分の言葉でまとめることができましたね。その言葉ひとつひとつからも、舞奈さんの研究に対する熱が伝わってきます。写真やまとめ方も見やすく、読みごたえのある作品でした。

次の研究では、奥歯や犬歯などほかの歯の役割も調べてみると、もっと深い発見につながるでしょう。

中央出版株式会社 社長賞

～大人をぶらさげた～
れいぞうこの中のさいきょう
せつちやくざい

南斉 穂乃果 | 千葉県 流山市立南流山小学校 2年



〈選考理由〉

食卓でのちょっとした出来事から「食べものは接着剤になるのかな？」という疑問をもった穂乃果さん。冷蔵庫の中の食材を使い、木片をくっつけて強さを比べるというユニークな実験を行いました。

1種類ずつの食材でためしたあと、食材を組み合わせ、より強力な接着剤を作ろうと工夫した発想がずばらしいです。実験では、くっつけた木片に自分・お姉さん・お父さんがぶら下がるかまで追求し、「チーズを使った接着剤が最も強い」という結果にたどり着くことができました。実験結果から新たな疑問を見つけてチーズ会社に質問のメールを送るという、穂乃果さんの行動力と探究心には目を見張ります。写真や表を使って結果をわかりやすく整理しており、読む人を楽しませる魅力のある作品でした。

次の研究では、チーズの中の成分を調べたり、工場を見学したりして、今回の発見をさらに深めていってください。